

TOTO

密結形ロータンク

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

施工業者様へ

！ 給水フィルターは、専用止水栓に内蔵されています。
給水不具合をきたしますので、必ず専用止水栓を取り付けてください。

試運転で必ず実施してください

●便器洗浄をして水たまり面が低下する場合

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。
※低下すると汚物付着の原因になります。
水たまり面が低下した場合は、設定変更にて対応してください。

水たまり面が低下する場合の対応方法

➡ 取り付け後の確認事項 11 を参照ください。

●自治体によって洗浄水量の規制がある場合

大洗浄4.8L、小洗浄3.6L、eco小洗浄3.4L仕様を下記水量に変更することができます。

大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

➡ 取り付け後の確認事項 12 を参照ください。

大洗浄8L、小洗浄6L、eco小洗浄5.5L仕様への切替方法

➡ 取り付け後の確認事項 13-1 を参照ください。

●給水フィルターの掃除をしてください。

➡ 試運転後の確認事項 9 を参照ください。

●便器に水が流れ続ける場合（給水の音が止まらない場合）

樹脂タンクに強い力や衝撃を与えると、つめが小タンクから外れて水が流れ続ける場合があります。

便器に水が流れ続ける場合の対応方法

➡ 取り付け後の確認事項 14 を参照ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--------------------------------------	--	---

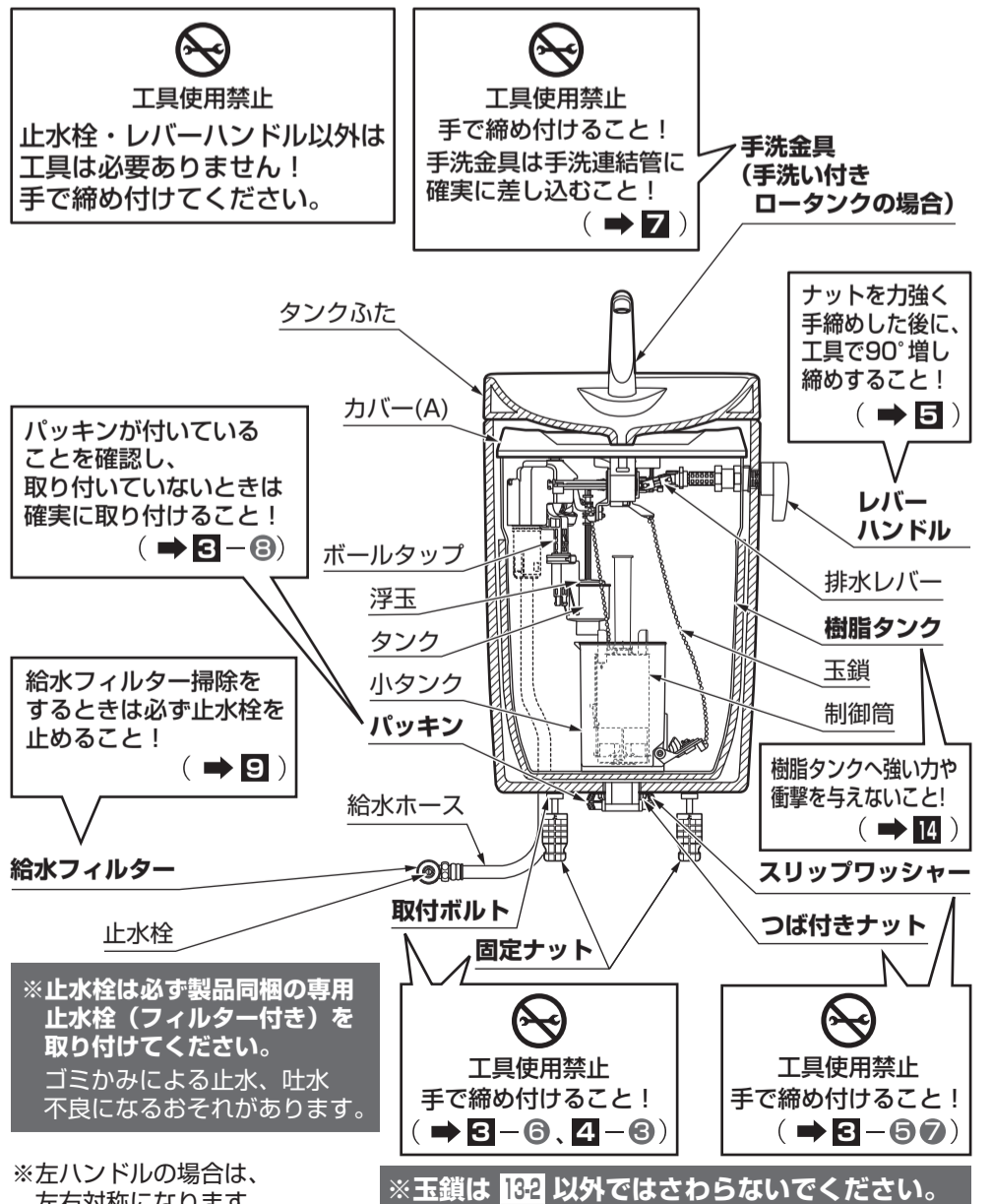
！ 注意	
	<p>陶器および樹脂タンクに強い力や衝撃を与えない 破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>給水ホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p> <p>設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。</p>

同梱部品

■陶器タンクから内部金具を取り出します。
部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

陶器タンク (1個)	樹脂タンク (1個)	タンクふた (1個)			
カバー (1個)	手洗金具 (1セット) ※手洗い付きの場合のみ	固定ナット (2個)	取付ボルト (2本)		
止水栓 (1セット) ※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください。	レバーハンドル (1個)	ナット (1個)	スペーサー (1個)	ピン (1個)	
パッキン (1個)	つば付きナット (1個) スリップワッシャー (1枚)	施工説明書 (1部)	取扱説明書 (1部) ※設置工事完了後、お客様にお渡しください。	開閉工具 (1個)	

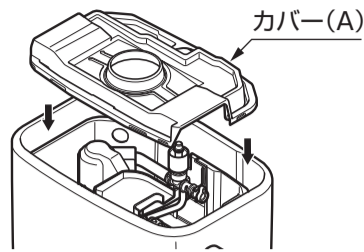
各部のなまえと施工のポイント（右ハンドルの場合）



取付方法

5 レバーハンドルを取り付け(つづき)【右ハンドルの場合】

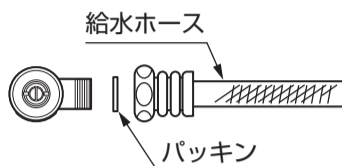
⑥ カバー(A)を広げて樹脂タンクにあわせて取り付ける。



取り付け後、レバーハンドルを何度か操作してガタツキやゆるみがないことを確認してください。

6 給水ホースの接続

① 給水ホースにねじれ、折れなどのないよう接続する。



② パッキンを右図の位置に必ず組み込む。

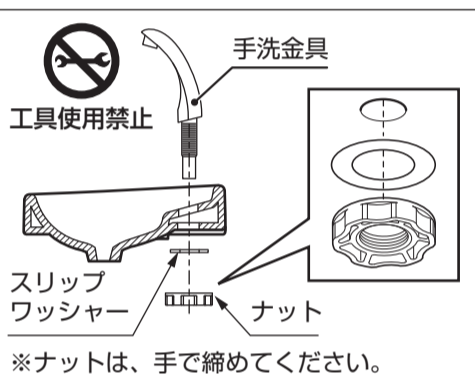
注意

給水ホースが折れないように接続方向を調整する
給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。
給水ホースはたるまないように取り付ける
たるんだ部分に水が溜まり凍結すると、ホースが破損し水漏れするおそれがあります。

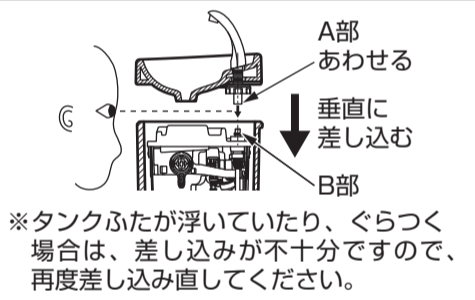
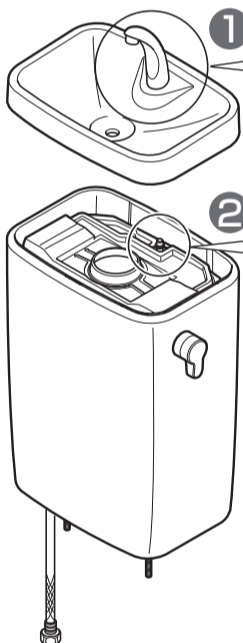
7 タンクふたの取り付け

① 手洗金具を取り付ける。
(手洗い付きロータンクの場合)

手洗金具を取り付け後、ガタツキやゆるみがないことを確認してください。



② タンクふたを取り付ける。



注意

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む
確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

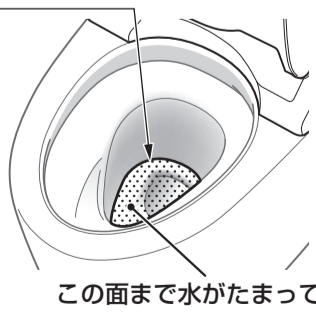
8 水たまり面の確認

- ・ 止水栓を開けて大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
 - ・ 2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ※洗浄した際、約1分程度水が流れます。止水不良ではありません。
ただし、便器に水が流れ続ける場合は、14を参照ください。

正常な状態

設定変更は不要です。
(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります)

正常な水たまり面



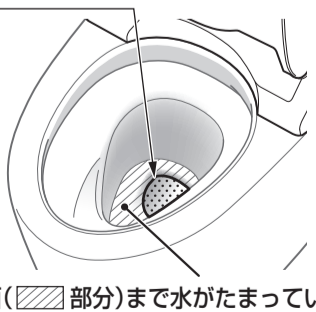
この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。
(水たまり面を正常な状態にすることができます)

設定変更の仕方は「11 水たまり面が低下する場合の対応方法」をご確認ください。

水たまり面が低い



この面(斜線部分)まで水がたまっていない

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

試運転後の確認事項

9 給水フィルターの掃除

注意

給水フィルター掃除前にお読みいただき手順を守る
手順を守らないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

給水フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う
水圧で給水フィルターが飛び出すことがあります。



必ず実行

給水フィルターのふたは確実に締める
確実に締めないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

フィルターユニットのふた開閉時は、止水栓を手で支えながら開閉する
配管が破損して水漏れするおそれがあります。

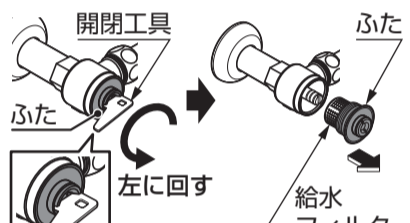
専用止水栓の場合

① 止水栓を閉めて給水を止める。

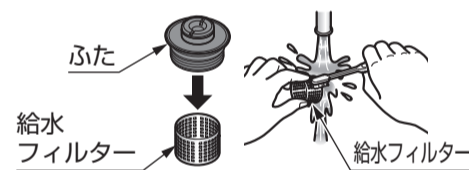


※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡しください。

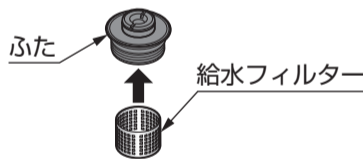
② 給水フィルターのふたを開閉工具で開けて、給水フィルターを取り出す。



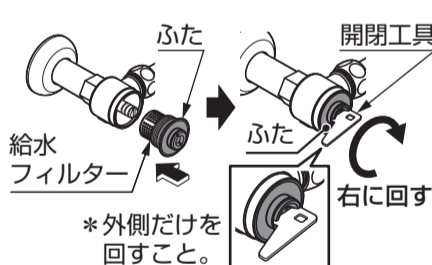
③ 給水フィルターをふたから取り外し、掃除をする。
※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。



④ 給水フィルターをふたに取り付ける。



⑤ 給水フィルターを元の位置に取り付け、ふたを開閉工具で締め付ける。



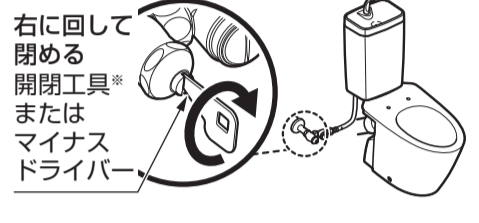
⑥ 止水栓を開ける。
※止水栓および配管接続部から水漏れしていないか確認してください。



試運転後、タンク内に異物がないことを確認してください。異物があると止水、吐水不良のおそれがあります。

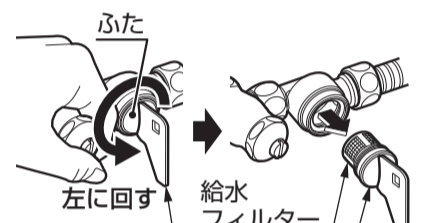
別売品フィルターユニットの場合

① 止水栓を閉めて給水を止める。

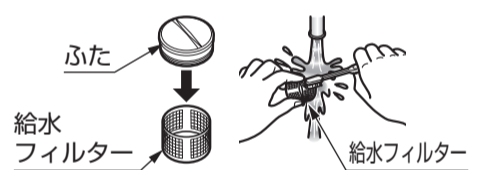


※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡しください。

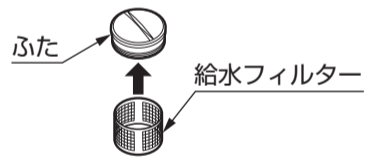
② 給水フィルターのふたを開閉工具で開けて、給水フィルターを取り出す。



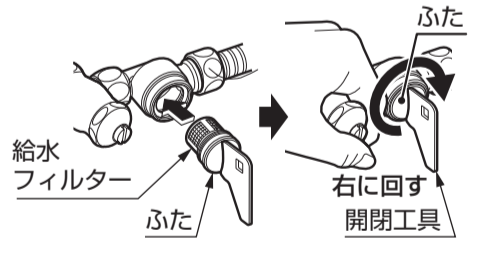
③ 給水フィルターをふたから取り外し、掃除をする。
※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。



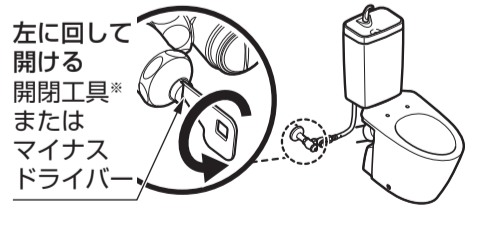
④ 給水フィルターをふたに取り付ける。



⑤ 給水フィルターを元の位置に取り付け、ふたを開閉工具で締め付ける。



⑥ 止水栓を開ける。
※止水栓および配管接続部から水漏れしていないか確認してください。



10 陶器表面の確認

- ・ 陶器表面に傷がないことを確認してください。
- ・ 陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡がつくことがあります。
- ・ スジ状の跡がついた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- ・ 施工したあとは、タンクふたなどに油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。

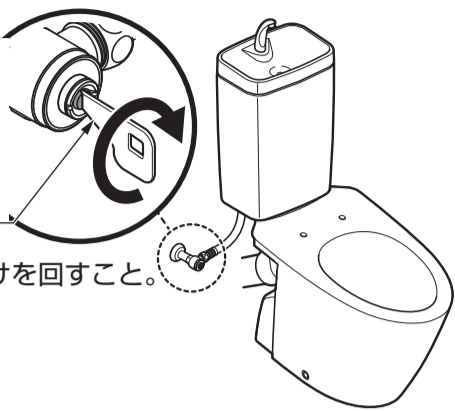
取り付け後の確認事項

11 水たまり面が低下する場合の対応方法

① 止水栓を閉めて給水を止める。

右に回して
閉める
開閉工具*
または
マイナス
ドライバー

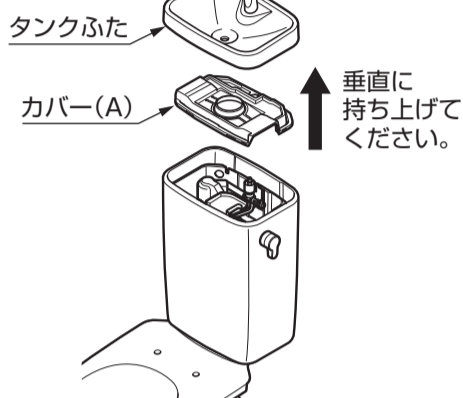
*内側だけを回すこと。



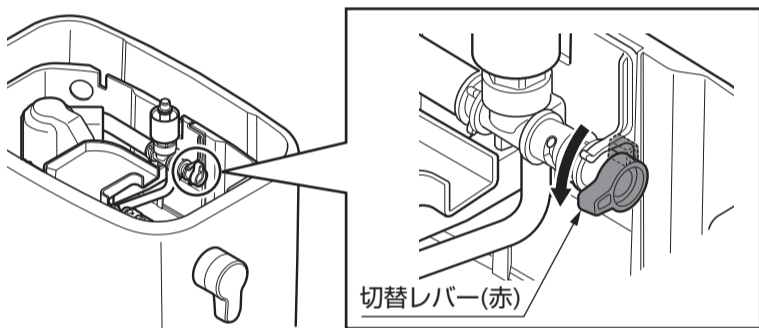
② タンクふたとカバー(A)を外す。

注意

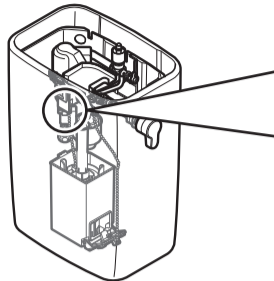
タンクふたは落とさないように
注意する
必ず実行 破損してけがをするおそれがあります。



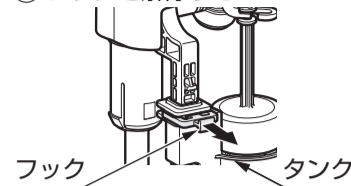
③ 切替レバー(赤)を手前に90°回転させ、そのままにしておく。



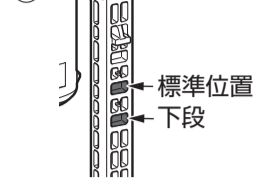
④ フックを解除し、
ボールタップの
タンク取付位置を
下段に変更する。



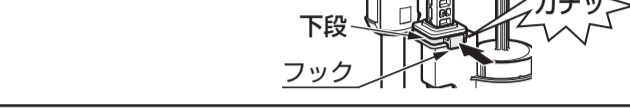
① フックを解除する



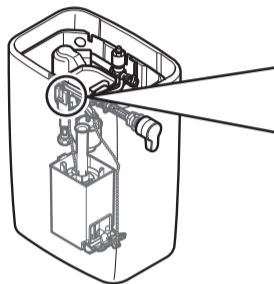
②



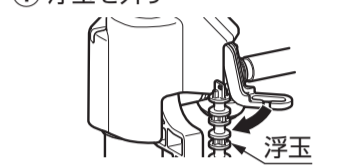
③ 下段に下げ、
フックを差し込む



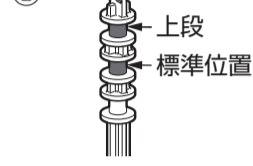
⑤ ボールタップの浮玉
取付位置を、上段の
凹部に変更する。



① 浮玉を外す



②



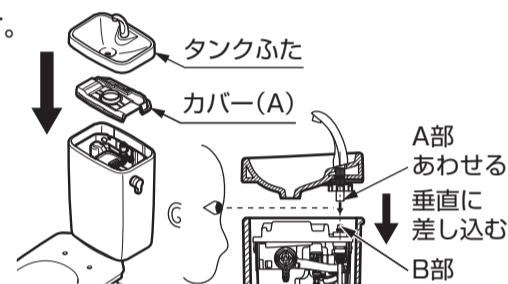
③ 上段の凹部を取り付ける



⑥ カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

注意

手洗い付きの場合、
A部をB部に必ず差し込む
確実に差し込まれていないと水漏れ
して家財などをぬらす財産損害発生
のおそれがあります。
必ず実行



⑦ 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

12 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

① 止水栓を閉めて給水を止める。

右に回して
閉める
開閉工具*
または
マイナス
ドライバー

*内側だけを回すこと。



動画を見る

施工手順

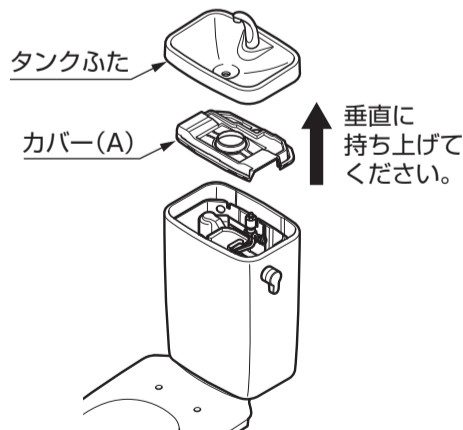
https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/pure_ex_1.htm



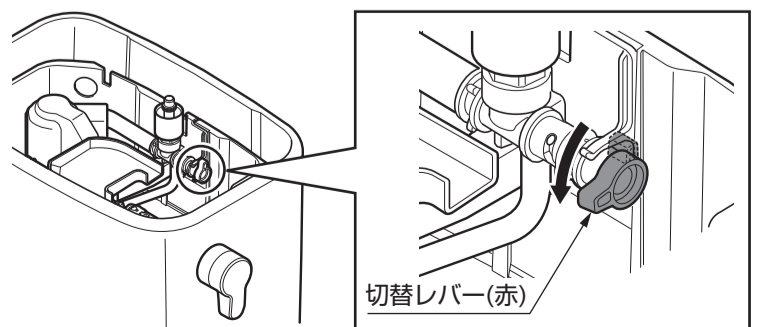
② タンクふたとカバー(A)を外す。

注意

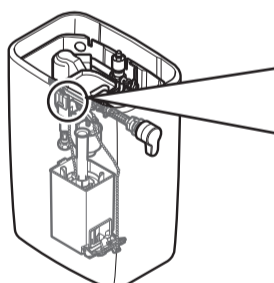
タンクふたは落とさないように
注意する
必ず実行 破損してけがをするおそれがあります。



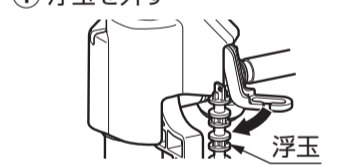
③ 切替レバー(赤)を手前に90°回転させ、そのままにしておく。



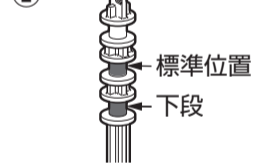
④ ボールタップの浮玉
取付位置を、下段の
凹部に変更する。



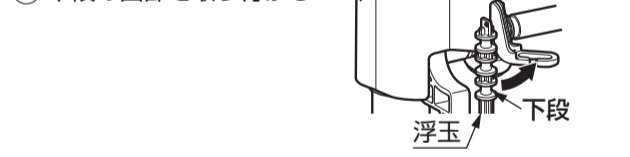
① 浮玉を外す



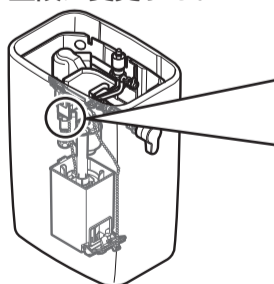
②



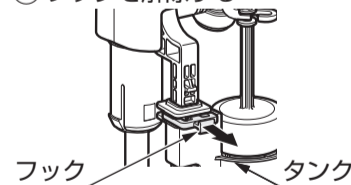
③ 下段の凹部を取り付ける



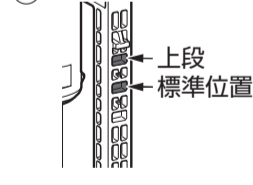
⑤ フックを解除し、
ボールタップの
タンク取付位置を
上段に変更する。



① フックを解除する



②



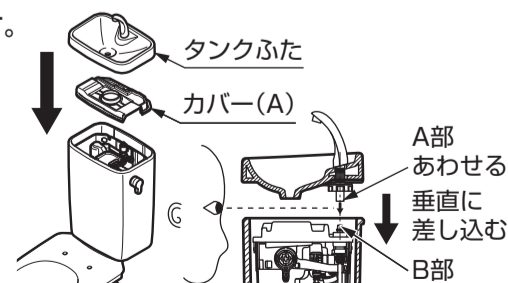
③ 上段に上げ、
フックを差し込む



⑥ カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

注意

手洗い付きの場合、
A部をB部に必ず差し込む
確実に差し込まれていないと水漏れ
して家財などをぬらす財産損害発生
のおそれがあります。
必ず実行



⑦ 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。